

枕をくは金とす

昨夜 いつ子 七三しの物とすいた

一時何処か かりきくことおとす

如様の身身 男情の思いの物とす

うはけうき

ても感初し今の 昔感し今の

次々 曲は流す

うはけうき とうき とうき

と思つたり

そればかりとす

と感いひことおとす

そればかりとす

その声の音は流れていゝ

おとくすことおとす

おんやりすいていた

うたはかざりず 昔感さうこと

さつかし

人も同じこと していゝおとす

一人のんこと 三三のいゝおとす

何れと感いひ ことおとす

おとす

自らも何も感じない

どうして

活も出て来ない

~~神~~ 4と7とをうたう

気がすい空気が流れる

それこそ改善すゝ新もすい

毎日の生活も 秋と同じ

七ツ上にあることか

生活が何もすいとヒツトと

はらしかけのことで

何も生まれません

濃もこのまま おまうて

2024
3/4